令和４年４月５日
弘前市役所
むつ市役所
深浦町役場
田子町役場
青森県警察
国土交通省東北地方整備局
青森河川国道事務所

「ゾーン３０プラス」の整備について
～青森県内４自治体と青森県警察が連携し更なる生活道路対策を推進～

国土交通省道路局と警察庁交通局では、最高速度 30km/h の区域規制と物理的デバイスの適切な組み合わせにより、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間整備の更なる推進を図る「ゾーン３０プラス」に取り組んでいます。

このたび、青森県内の４自治体のそれぞれの地区で、「ゾーン３０プラス」として、道路管理者である自治体と青森県警察が連携し、地域との合意形成を図りながら、更なる整備を推進することとしましたのでお知らせします。

また、昨年９月にゾーン３０区域に指定されている青森県青森市浪岡北中野（あおもりしなみおかきたなかの）地区において試験設置した、物理的デバイスの一つである可搬型ハンプを用いた「スムーズ横断歩道」の効果検証について取りまとめましたので併せてお知らせします。

１．「ゾーン３０プラス」の整備に取り組む青森県内の自治体　【別紙１参照】
弘前市城西（ひろさきしじょうせい）地区、むつ市昭和町（むつししょうわちょう）地区、深浦町北金ヶ沢（ふかうらまちきたかねがさわ）地区、田子町田子（たっこまちたっこ）地区

２．「スムーズ横断歩道」試験実施における効果検証について　【別紙２参照】

３．青森河川国道事務所が保有する可搬型ハンプの貸出しについて　【別紙３参照】
生活道路の安全対策として試行的にハンプを使用したい自治体があればご相談ください。

＜記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社＞

【問い合わせ先】

≪　「ゾーン３０プラス」のエリア、整備に関すること　≫

弘前市	建設部	土木課	課長	千葉　裕朗	TEL	0172-35-1111(代表)(内線 422)
むつ市	都市整備部	都市計画課	課長	黒澤　幸太郎	TEL	0175-22-1111(代表)(内線2740)
深浦町		建設課	課長補佐	増冨　勇人	TEL	0173-74-4413(直通)
田子町		建設課	課長	内沢　繁美	TEL	0179-20-7117(直通)

≪　交通安全に関すること　≫

青森県警察本部　交通部　交通規制課　次長　佐藤　康英　TEL　017-723-4211(代表)(内線5161)

≪　「ゾーン３０プラス」の施策について、「スムーズ横断歩道」の効果検証及び可搬型ハンプの貸出しに関すること　≫

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
道路保全課　課長　三上　泰光　TEL　017-734-4521(代表)(内線 491)

別紙１

青森県における「ゾーン３０プラス」整備エリア箇所

深浦町北金ヶ沢地区

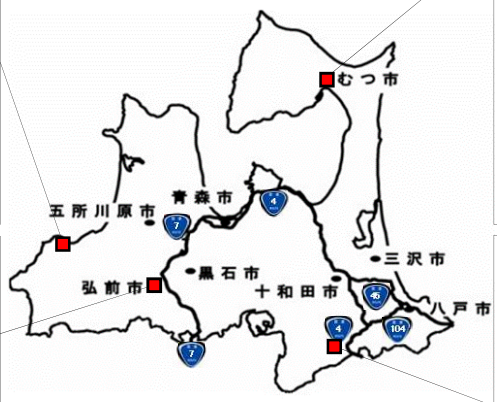


地理院地図にゾーン30プラス整備エリア等を追記して掲載

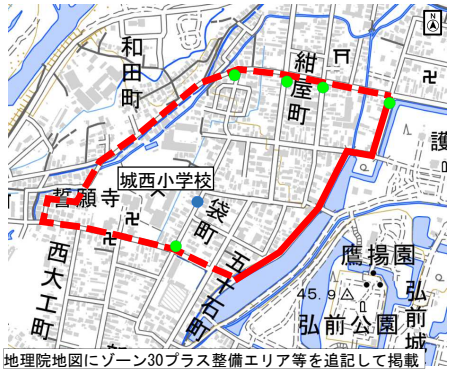
むつ市昭和町地区



地理院地図にゾーン30プラス整備エリア等を追記して掲載

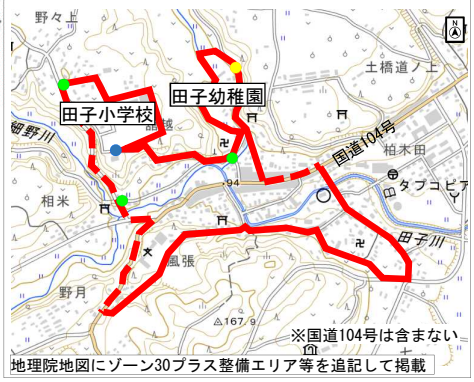


弘前市城西地区



地理院地図にゾーン30プラス整備エリア等を追記して掲載

田子町田子地区



地理院地図にゾーン30プラス整備エリア等を追記して掲載

凡例

- 整備区域（ゾーン30プラス）
- 整備区域に含まれない外周道路
- 物理的デバイス
- ゾーン30プラス看板＋路面標示
- ゾーン30プラス看板

各地区で設置する物理的デバイス

	弘前市 城西地区	むつ市 昭和町地区	深浦町 北金ヶ沢地区	田子町 田子地区
物理的デバイス 設置予定内容	・狭さく （設置済）	・スムーズ 横断歩道 ・狭さく	・狭さく	・スムーズ 横断歩道



▲狭さく



▲スムーズ横断歩道

ゾーン30プラス看板と路面標示



その他の物理的デバイス（主な設置例）



▲ハンプ



▲クランク



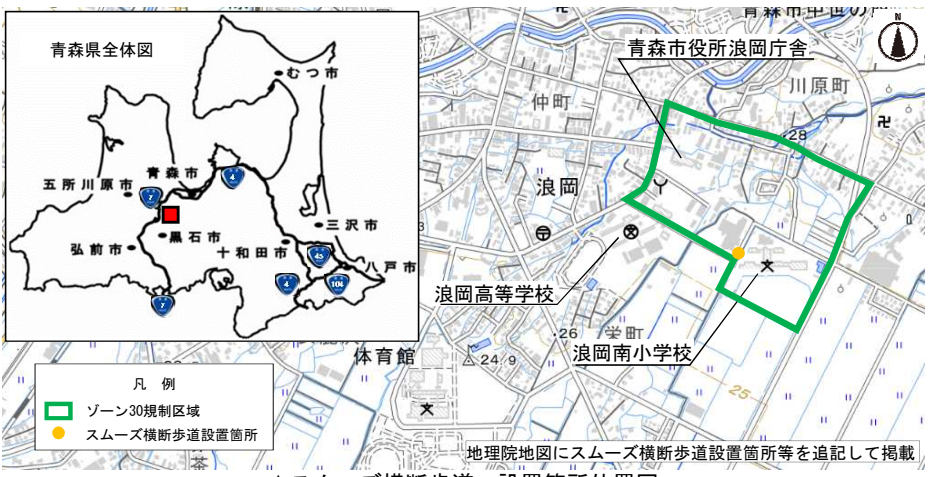
▲ライジングボラード

※写真はいずれもイメージ

別紙２

「スムーズ横断歩道」の試験設置について

◆「ゾーン30」規制区域内の信号機のない横断歩道がある青森市浪岡北中野地区において「スムーズ横断歩道」を試験設置（青森県で初めての実施）。
◆秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）を含む9月17日～11月12日までの約2ヶ月間実施。
◆効果検証を行うため、ビデオカメラ観測調査及びアンケート調査を実施。



▲スムーズ横断歩道　設置箇所位置図



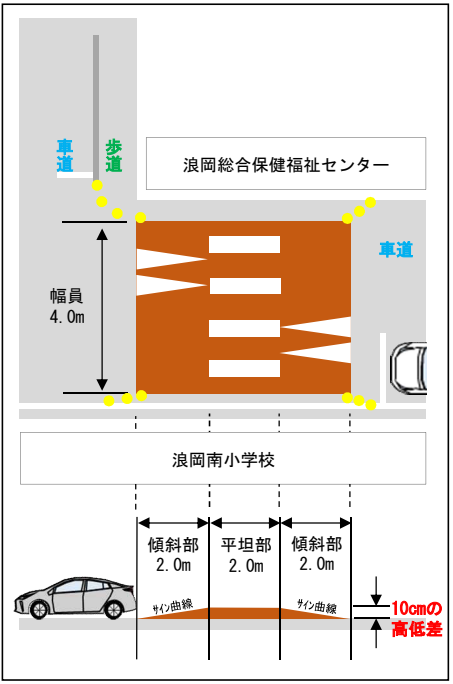
▲スムーズ横断歩道　設置箇所平面図



▲スムーズ横断歩道　試験設置前状況



▲スムーズ横断歩道　試験設置後状況



▲スムーズ横断歩道　設置箇所イメージ図

ゾーン30とは

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて30km/hの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る、全国的に推進されている生活道路・通学路等対策。
青森県においては、令和3年12月末現在37箇所が指定。
（青森県警察ホームページより）



▲法定外表示



▲区域規制標識

スムーズ横断歩道とは

歩行者が安全に横断歩道を横断できるようにするため、横断歩道の位置に「ハンプ」を設置し、横断歩道の高さを高くすることで、車両の速度を低下させる物理的デバイスの1つ。

青森市
（道路管理者）
青森県警察
（交通管理者）
国土交通省
青森河川国道事務所
（効果検証実施）

国・警察・市が
連携して
「スムーズ横断歩道」
を設置

別紙２

「スムーズ横断歩道」の試験設置における効果検証について

◆速度変化について、設置前の車両走行速度の最大値が31.9km/h、設置後は28.6km/hに低下。30km/h以下に収束。
◆一時停止遵守率について、設置前は56%、設置後は67%まで上昇。
◆スムーズ横断歩道を設置したことにより、約8割のドライバーが注意意識が向上したと回答。
◆児童からは歩いているときに、車が止まってくれるようになった等の意見があった。

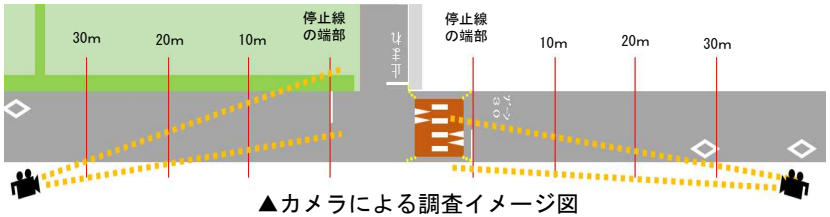
■ビデオカメラ撮影による状況



▲カメラ設置状況写真

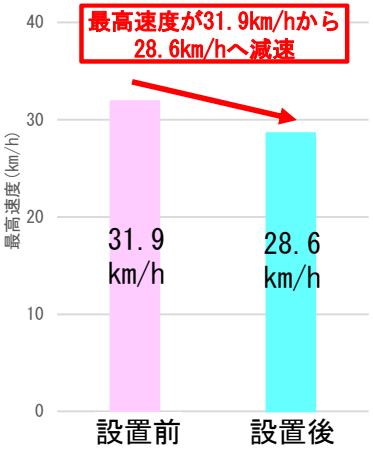


▲カメラからの状況写真

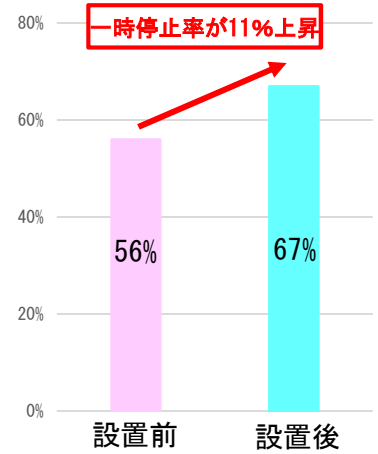


▲カメラによる調査イメージ図

■ビデオカメラ撮影による調査結果



▲走行速度の変化

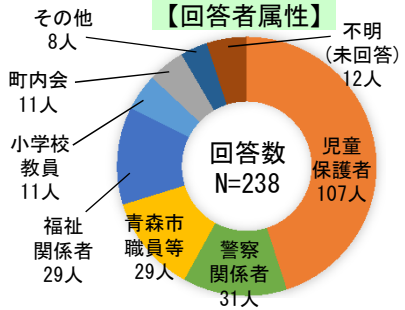


▲一時停止遵守率

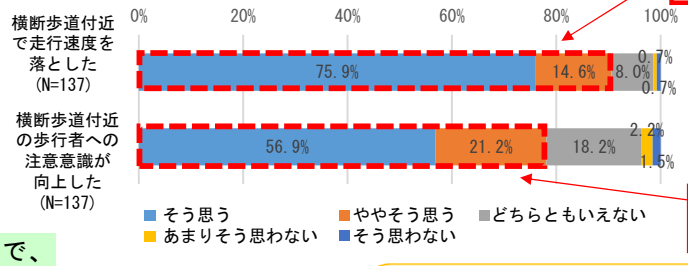
※計測時間帯　7:00～9:00　及び　14:00～16:30
試験設置前調査期間　8/31～9/3(9/2除く)
試験設置後調査期間　10/12～14

■アンケート調査結果(大人)

【回答者属性】



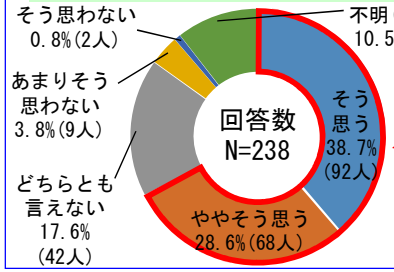
【意識の変化】
(設置後に自動車等で通行された方のみを対象)
スムーズ横断歩道が設置されたことで、自動車等の運転時にどのような変化につながったか？



①約9割が横断歩道で走行速度を落としたと回答

②約8割が注意意識が向上したと回答

【設置の評価】
スムーズ横断歩道が設置されたことで、道路の安全性は向上すると思うか？



③約7割が安全になったと回答

【スムーズ横断歩道を通行したドライバーの意見】

○横断歩道が見えづらいところもあるので、このように目立つようにしてもらいたい。
○ハンプ等の設置を増やしてほしい。
○車両が通行するにはギリギリに感じた。



■アンケート調査結果(児童)

浪岡南小学校全校児童(1～6年生)153人にアンケートを依頼。
歩くときに「良くなった」が78人、「悪くなった」が3人、「変わらない」が67人とそれぞれ回答があった。
(未回答5人)

「良くなった」と回答した方の意見

○歩いているときに、車が止まってくれるようになった。
○車を運転する人や歩いている人に横断歩道がはっきりと見えるようになった
○歩くところがはっきりしていて横断歩道から外れて歩かなくなった。
○車がゆっくりになって安心して通れるようになった。



「悪くなった」と回答した方の意見

○横断歩道の前で急ブレーキをかける車が増えて危ないと感じた。

その他の意見

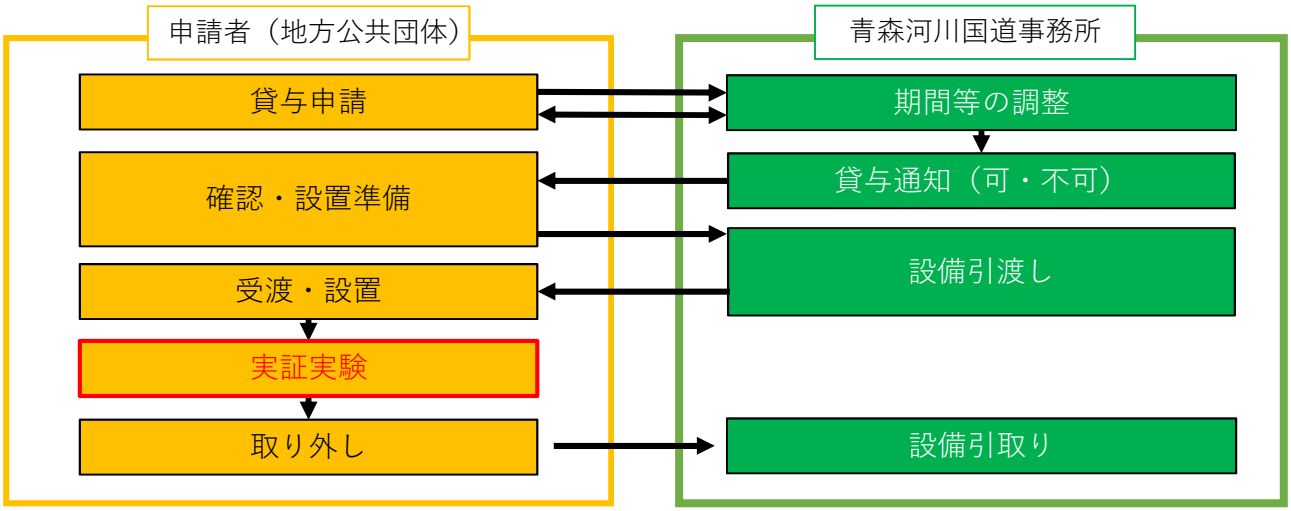
○お試しでなく、ずっとつけてほしいし、他の場所にも台をつけてほしい。
○横断歩道がもっと広くなってほしい。



別紙３

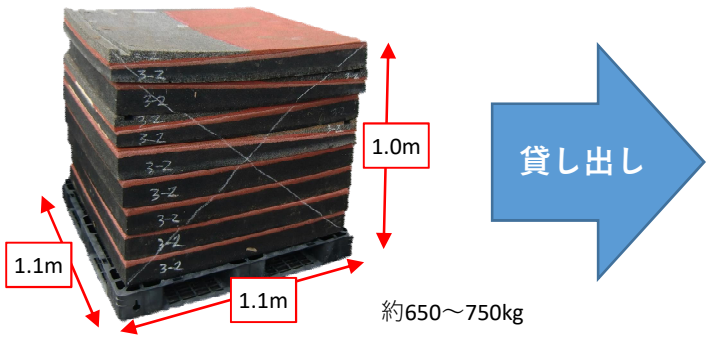
国土交通省では、生活道路の交通安全対策を支援するため、可搬型ハンプの貸出しを行っています。

■可搬型ハンプの利用手順



※引渡し場所と設置地区間の運搬費及び設置・撤去費は、申請者の負担です。

■輸送時の荷姿（１セット）



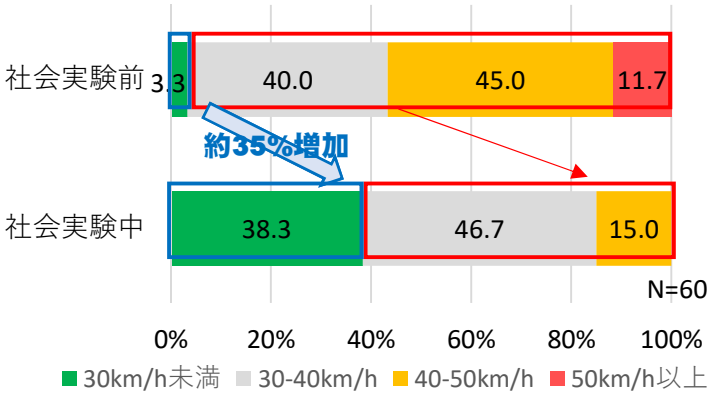
■設置例



※２セット使用

■ハンプの設置効果の検証

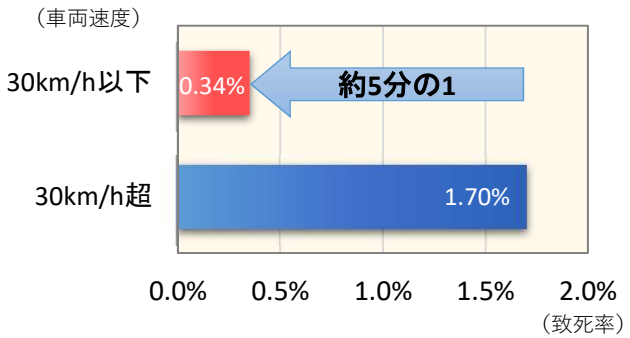
例）ハンプの設置により、
30km/h未満で走行する車両の割合が約35％増加



出典：国土技術政策総合研究所

(参考)生活道路の速度別の致死率

車両速度30km/h以下の事故の致死率は５分の１



出典）交通事故データ（ITARDA：令和2年データ）

＜関係情報はこちらへ＞

■可搬型ハンプの貸出しについての問い合わせ
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所　道路保全課
TEL　017－734－4575
■生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト
http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen.html

生活道路の交通安全対策
ゾーン30プラス